

科目名	運動療法学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
運動学・解剖学を基礎としてその治療への応用を学習する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
理学療法において最も良く行われるストレッチングと筋力トレーニングを中心に、運動学・解剖学的に詳しくその方法を教授する。後半はケース症例に対し、実際の運動療法をグループで考案・発表する。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
基本的な筋の触診、ストレッチングと筋力トレーニングができる。							
回数	講義内容						
1	運動療法の概論						
2	運動療法の概論						
3	ROM-ex 筋力増強練習（股関節）						
4	ROM-ex 筋力増強練習（股関節）						
5	ROM-ex 筋力増強練習（膝関節）						
6	ROM-ex 筋力増強練習（膝関節）						
7	ROM-ex 筋力増強練習（足関節）						
8	ROM-ex 筋力増強練習（足関節）						
9	ROM-ex 筋力増強練習（体幹）						
10	CKCでのエクササイズ						
11	CKCでのエクササイズ						
12	CKCでのエクササイズ						
13	基本動作練習						
14	基本動作練習						
15	基本動作練習						
16	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（肩関節）						
17	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（肘関節）						
18	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（肘関節）						
19	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（手関節）						
20	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（手関節）						
21	復習						
22	実技試験						
23	実技試験						
	定期筆記試験						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
運動器の運動療法		小柳磨毅		羊土社			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
筆記試験にて評価する							